

令和5年度交通安全功労者表彰(交通対策本部長表彰) 表彰者功績概要

受賞者名 (個人・団体・市区町村)		功績等
岩手県	ササキ キヨミ 佐々木 清美	昭和49年4月から宮守村(現在は遠野市)交通指導員として、また、昭和58年4月から遠野市交通安全協会会員(平成30年5月からは会長)として、地域の交通安全活動に従事し、児童や高齢者に対する交通安全指導を始め、交通指導員の育成や交通安全協会の健全な業務運営に取り組むなど、交通事故防止、交通安全意識の高揚及び後継者育成等に多大な貢献をした。
宮城県	ヒノ ヨシカツ 日野 善勝	昭和50年6月1日から涌谷町の交通指導員として地域の交通安全活動に従事し、日頃から通勤・通学時間帯における街頭指導を始め、子供や高齢者に対する交通安全指導を行い、地域住民等に交通事故防止を呼びかけるなど、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。
秋田県	タカハシ シュウイチ 高橋 秀一	昭和46年から八郎潟町の交通指導員として50年以上にわたり地域の交通安全活動に従事し、交通安全運動期間を中心に、地域の交通事故発生状況を踏まえた通勤・通学路での街頭指導や児童及び高齢者に対する保護・誘導活動を行っているほか、住民等に交通事故防止を熱心に呼びかけるなど、交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。 また、交通指導隊として活動の在り方を模索するなど研究心も旺盛で、他隊員への指導にも長年にわたって取り組んでいる。
山形県	スズキ ヨウイチ 鈴木 洋一	昭和56年4月から山形市の交通指導員として、通学児童・生徒をはじめ地域住民等の交通安全を確保するため、毎朝街頭指導に従事している。 また、学校、警察及び交通安全関係機関等と緊密に連携を図りながら、小学校での交通安全教室では信号機・横断歩道等の交通安全資器材を活用した実践的な指導を行うなど児童の交通安全教育に尽力し、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。
福島県	ワカマツ タケシ 若松 武司	昭和57年から、いわき市の交通教育専門員として地域の交通安全行事に従事し、毎日の通学路での街頭指導や児童・生徒、高齢者に対する交通安全指導を始めとして、住民等に交通事故防止を呼びかけるなど、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に大きく貢献した。 また、平成30年から福島県交通教育専門員連絡協議会副会長、現在は会長として、組織の充実と強化を図り、県内の交通安全意識の高揚に重要な職責を継続して担っている。
茨城県	イチツカ フジオ 市塚 不二夫	昭和52年4月に下館地区交通安全協会に入会、平成17年に地区交通安全協会理事、平成25年に同副会長に就任、現在は茨城県交通安全協会理事兼筑西地区交通安全協会会長として活動している。 45年もの長きにわたり、各種交通安全活動に献身的に取り組、優れた統率力と指揮力により、各種行事の企画立案から実施まで関わり地域住民に対する効果的な交通安全啓発活動を展開したほか、立哨活動等の率先により、他に模範を示している。

## 令和5年度交通安全功労者表彰(交通対策本部長表彰) 表彰者功績概要

受賞者名 (個人・団体・市区町村)		功績等
群馬県	マツシマ シゲル 松島 茂	昭和54年4月1日に桐生市交通指導員として就任以来、桐生市立西小学校地区において学童、生徒等の保護・誘導活動等に努めるとともに、日夜精勤している。 また、地域の交通安全運動にも積極的に参加しており、地域住民の信頼も厚く、その功績は顕著である。平成15年4月1日からは、西小学校地区の班長として各種交通安全活動に率先して取組、他の交通指導員の模範となっている。
石川県	コバヤシ ヒロシ 小林 博	昭和55年に七尾市交通安全推進隊隊員に委嘱されて以来、朝の通学・通勤時間帯の主要交差点における街頭交通指導をはじめ、各祭礼行事や七尾市の交通事故防止活動において積極的かつ効果的な保護誘導を行っている。 また、現在は、七尾市交通安全推進隊副隊長として隊長を補佐し、優れたリーダーシップを発揮して隊を取りまとめている。加えて、隊員間、地域住民からの人望が厚く、七尾市内の交通安全及び推進隊運営に対する功労は極めて高い。
福井県	オオクボ サチコ 大久保 佐智子	昭和58年7月、福井市交通指導員に委嘱されて以降、40年間の長きにわたり、地域の交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大なる貢献をしている。社北地区内の交通指導員を取りまとめ、四季の交通安全県民運動における街頭啓発のほか、日頃より交通街頭指導等の歩行者・自転車利用者の保護誘導活動を行っている。 また、公民館、児童館等において、各年齢層に応じた交通安全教室を実施するなど、市民に対する交通安全思想の普及に貢献した。
静岡県	ヒキチ チカラ 曳地 千賀良	函南町交通指導員会の発足前から自主的に園児や児童の通学指導に努めており、その後の昭和54年の函南町交通指導員会発足時には第1期会長に選出され、長年にわたり、函南町の交通安全に大きく貢献した。
京都府	キタガワ ケンイチ 北川 憲一	昭和46年から、松ヶ崎小学校児童の見守り活動を続けており、現在では見守り活動に加えて、「新一年生対象歩き方交通安全教室」や「自転車教室」を積極的に計画し、児童や保護者に交通安全教育を実施している。 また、松ヶ崎学区高齢者交通事故防止モデル地区の委員として、高齢者宅訪問活動を実施し、横断歩道の利用や反射材活用等のワンポイント指導を継続して実施するなど、地域住民全体の交通安全意識の高揚に顕著な功労が認められる。
岡山県	メグロ コウヘイ 目黒 宏平	毎朝の登下校時間帯の通学路等における児童等の見守り活動や交通誘導、学区内の危険箇所の点検・上申を始め、小・中学校での交通安全教育、地域住民等に対する交通事故防止への呼びかけを行うなど精力的に活動し、交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。

令和5年度交通安全功労者表彰(交通対策本部長表彰) 表彰者功績概要

受賞者名 (個人・団体・市区町村)		功績等
山口県	ヨシハラ キヨカ 吉原 清香	昭和60年11月から光市交通安全指導員として、児童の登下校を見守るため、県道光玖珂線の島田小学校前交差点において、早朝時交通立哨を実施し、平成31年3月で高齢を理由に退任されたが、その後地元からの要望もあり、令和3年7月より再度光市交通安全指導員に就任し、現在も活動を継続している。特に児童や高齢者に対する地域の交通安全活動に貢献しており、市民の模範となっている。
香川県	タケウチ カツミ 竹内 且巳	昭和60年から、さぬき市(旧長尾町)の交通指導員として地域の交通安全活動に従事し、通学・通勤路での街頭指導や児童・高齢者に対する交通安全指導をはじめとして、住民等に交通事故防止を呼びかけるなど、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。
愛媛県	モリカワ ヨシユキ 森川 純行	昭和53年に大洲交通安全協会白滝支部役員に就任して以来、40年以上にわたり街頭指導活動など交通安全に関する活動を行っている。 また、平成22年から平成27年に大洲交通安全協会会長を歴任し、現在は大洲交通安全協会白滝支部長として、交通安全教室や交通安全施設点検活動等を通じて、地域の交通安全環境の維持に多大な貢献をした。
佐賀県	ヒライシ サダヨシ 平石 定吉	昭和61年6月1日に多久市交通安全指導員を委嘱されて以来、36年の長きにわたり、児童生徒の通学時間帯の毎朝立哨を行い子供の安全確保に努めるなど、市内における交通の安全及び交通道德の高揚を図るとともに、交通秩序の確立に全力を傾注し、その職務を全うしている。
大分県	ナガオ フクヤス 永尾 福康	40年にわたり交通安全指導員として小学校登校日の朝7時半から8時半まで、交差点での交通安全指導に従事し、小学生の登校の安全確保と地域の交通安全意識の向上に大きく貢献した。 また、地区老人会において、警察官を招き交通安全教室を開催し、高齢者の交通事故の防止、交通安全意識の高揚に努めている。
宮崎県	ソトヘボ カズミ 外栢保 和美	昭和59年から都城市交通指導員として地域の交通安全問題に向き合い、通学・通勤路での街頭指導や児童に対する交通安全指導を行うとともに、高齢者等を対象とした交通安全教室を開催し、交通事故防止を呼び掛けている。 また、都城市交通少年団の設立に尽力し、同少年団の指導者として教育活動に貢献するなど、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。

令和5年度交通安全功労者表彰(交通対策本部長表彰) 表彰者功績概要

受賞者名 (個人・団体・市区町村)		功績等
富山県	トヤマシ ニシデン ジガタ コウク コウツウ 富山市西田地方校区交通 アンゼンハハノカイ 安全母の会	昭和48年に、「富山市西田地方校下交通安全母の会」として結成後、児童や生徒の交通事故被害の防止に向けて、主要交差点における登下校時の街頭監視活動を実施するとともに、西田地方小学校PTAと連携した「自転車の安全な乗り方教室」を開催するなど、50年間、継続して実践的な交通安全対策に取り組んでいる。
福井県	タカハマチョウコウツウシドウインカイ 高浜町交通指導員会	子供への交通教育として、小中学校の交通安全教室で登下校・自転車通学の生徒を指導し、また、各交通安全運動期間には、早朝街頭指導・薄暮時街頭指導や飲酒運転根絶活動を実施し、町内の交通事故防止に努めている。 さらに町内の主要行事において交通整理を行い、観光客などで混雑する状況でも事故が起きないように様々な場面で交通安全啓発・交通事故防止に貢献した。
静岡県	シモダシコウツウシドウインキョウギカイ 下田市交通指導員協議会	地元警察や交通安全協会下田分会、下田市交通安全対策委員会と協働し交通安全活動を行ってきた。夕暮れ時から夜間の交通安全指導や飲酒運転撲滅活動等のドライバー及び自転車に対する啓発活動により、下田市の交通事故の特徴である単独死亡事故の発生を抑え、令和4年1月14日に交通死亡事故連続1,000日を達成して現在も継続中であるなど、地域の交通事故防止に多大な貢献をした。
京都府	ニシキョウクコウツウアンゼンスイシンカイ 西京区交通安全推進会 レンゴウカイ 連合会	警察や関係機関、自治連合会、団体等と連携して、交通安全活動を積極的に推進してきた。 定期的に小学生を対象にした交通安全教室や自転車教室を開催しているほか、高齢者を対象にした交通ルールへの遵守やヘルメット着用の啓発等を実施するなど、子供から高齢者まで安心して過ごせる交通事故のないまちづくりに努めている。
鳥取県	サカイミナトコウツウアンゼンレディース 境港交通安全レディース クラブ クラブ	境港警察署と連携し、市内の小学校及び保育施設を対象に、鬼太郎等の妖怪に扮し、交通安全を題材とした寸劇を実施している。 また、各期の交通安全運動への参加や、地元小学校PTAと連携した3年生を対象とする自転車教室の実施など、平成8年に結成以来、幼少年期の交通安全教育を精力的に推進し、交通事故防止に貢献した。

令和5年度交通安全功労者表彰(交通対策本部長表彰) 表彰者功績概要

受賞者名 (個人・団体・市区町村)		功績等
群馬県	シントウムラ 榛東村	<p>県中央部に位置し、東に前橋市、西と南は高崎市、北は吉岡町、渋川市と接している。また、同村の道路体系は、主要地方道2路線、一般県道3路線、生活道路としての村道であり、加えて高崎渋川線バイパス及び南新井前橋線バイパスも整備されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○春・秋の全国交通安全運動、夏・冬の県民交通安全運動の年4回の交通安全啓発を実施。</li> <li>○高齢者の運転免許証自主返納者に支援を行い、自主返納を促進。</li> <li>○高校生に対し自転車ヘルメットの購入補助を行い、交通事故による被害軽減を促進。</li> <li>○毎月2回の街頭指導を実施、村内の交通安全思想の高揚に取組。</li> <li>○榛東村交通安全条例を制定しており、各種交通安全施策を積極的に推進。</li> <li>○榛東村通学路交通安全プログラムを作成し、各関係機関と合同点検を行い対策を実施。</li> </ul>
千葉県	カマガヤシ 鎌ケ谷市	<p>千葉県北西部の東葛地域、都心から30km圏に位置し、幹線道路(国道464号、主要地方道船橋安孫子線、同市川印西線、同千葉鎌ケ谷松戸線)は広域からの通過交通が入り込み、常に交通渋滞が発生している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○四季の交通安全運動 主要交差点を警察・安全運転管理者協議会・交通安全協会と合同で街頭監視(登校する児童・生徒の見守り)を行う。</li> <li>○交通安全ポスター・標語コンクールの実施とラッピングトラックによる啓発活動 交通安全の啓発を目的として市内小学校の児童を対象に交通安全ポスター・標語コンクールを開催。花王ロジスティクス株式会社の協力により、同コンクールにて優秀な成績を修めたポスターを使用した「ラッピングトラック」が完成し、鎌ケ谷市を含む近隣市を走行、地域の交通安全啓発に活躍。</li> <li>○交通安全教室の実施 市内小中学校の自転車交通安全教室の定期開催のほか、幼稚園や自治会から要望により、警察とともに出張交通安全教室を随時行い、鎌ケ谷市のマスコットキャラクターである「かまたん」等の反射材をはじめとする啓発物資の配布。</li> <li>○飲酒運転根絶への積極的な取組 市広報誌にて、飲酒運転の危険性について周知をし、市役所本庁舎においては、日本ハムファイターズ選手の啓発動画を公開し、飲酒運転根絶を呼び掛け。</li> <li>○放置自転車クリーン キャンペーンの実施 市内の慢性的な渋滞により自転車利用者が多く、それに伴い放置自転車も多く見受けられることから、広報車にて市内駅周辺を巡回し、放置禁止を呼び掛け。</li> <li>○通学路の安全点検 令和3年6月の八街市の事故を受け、小学校の通学路の緊急一斉点検・合同点検を実施。第4次通学路安全対策推進行動計画を作成。</li> </ul>

令和5年度交通安全功労者表彰(交通対策本部長表彰) 表彰者功績概要

受賞者名 (個人・団体・市区町村)		功績等
神奈川県	カクセイマチ 開成町	<p>県の西部に位置し、県内で最も小さい町でありながら、4つの県道(78号、711号、712号及び720号)を有し、県道78号線については、東名高速大井松田ICに連絡し、町外との東西交通の幹線道路となっており、県道711号線については、隣町との連絡橋を利用する車両が多く、交通量が非常に多い。また、土地開発により新たな住宅が多く建設され、人口が増加している。</p> <p>○春・秋の全国交通安全運動、夏季及び年末年始での街頭指導を実施。                      ○町内幼稚園・保育園の年長組を対象に、実際の道路上での横断訓練を内容とした交通安全教室を実施。                      ○平成19年度より子ども自転車運転免許制度を導入し、町内小学校4年生を対象に子ども自転車運転免許講習を実施。                      ○歩車道の改良や路面標示の整備、自治会要望箇所等へのカーブミラーや防犯灯、啓発看板といった安全施設の整備。                      ○開成町自転車等の放置防止に関する条例に基づき、自転車駐車対策の取組。</p>
徳島県	キタジマチョウ 北島町	<p>徳島県の東部に位置し、東西南北に主要地方道が通り、近年は徳島市のベッドタウンとして栄えている。人口密度は、四国地方では1番高く、人口も増加傾向にあるとともに、通過車両も増加傾向にある。</p> <p>○春・秋の全国交通安全運動期間には、板野東部地区交通安全教育推進協議会等が地元警察等の交通安全機関・団体と連携し、交通安全運動を実施。                      ○交通安全教育指導員による幅広い年代層に対する交通安全教室を実施。                      ○徳島北交通安全協会北島分会とともに毎月10日に街頭でのシートベルト調査や中学生への自転車指導等の交通事故防止啓発活動を実施。                      ○町内幼稚園等での自転車マナーアップや町内危険箇所へストップマークの設置等を行う。                      ○(株)保険システム等と共同して、テレマティクス技術(通信技術)を用い、安全運転等に見える化し、交通事故ゼロを目指すセーフティードライブコンテストを実施。</p>